



サポステ Typhoon Vol.2

利用者による利用者
巻き込んでいく広報誌



サポステタイフーン

サポステ Typhoon 第2回目の発行となりました。今回はサポートステーションの活動からピックアップしたものと、利用者さん・スタッフの方へのインタビューを中心に紹介していきます。

Trump Café

トランプカフェ



トランプカフェは毎週金曜日の午後3時から始まります。毎回、トランプのカードを引き、ランダムに席を決めます。最初に当番の人がカフェレーニングとしてお茶を入れ、それからお茶を飲みながら近況報告をします。その後、トランプ、UNO、カルタ、坊主めくりなどのゲームの中から多数決でゲームを選び、カードゲームを楽しみます。



カフェレーニング中です。当番が人数分の飲み物のオーダーを取り、用意します

みんなで順番に近況報告をします

こんなにすごい手札も!! 強運ですね(^_^)/★



クリスマス会レポート

2013年12月19日、サポートステーション利用者主催のクリスマス会が開かれました。

プログラム

1. 開会のあいさつ
2. It's SO time! (利用者さんによるパフォーマンス)
3. サイコロゲーム
4. ティータイム
5. 閉会のあいさつ



みんなで、手作りの飾りを賑やかに飾り付けしました。



調理実習ではプチシュークリームを積み上げたシュークリームタワーを作りました。それぞれの個性がデコレーションに表れています。



手作りのサイコロで、サイコロゲームをし、楽しいトークの時間になりました。

感想

実行委員としてクリスマス会に参加させていただきました。内容や段取りを考えてまとめるのは大変だったけれど、実行委員のみんなやサポステのスタッフさんとアイデアを出し合い、協力して作業ができてよかったです。クリスマス会本番では司会をさせていただき、とても緊張しましたが、ノリと勢いでカバーしました。一芸が見られたり、お菓子を食べながら談笑したりと、とても楽しいクリスマス会でした。

Sさん

クリスマス会は、あっという間に始まり、あっという間に終わりましたが、とても楽しく自分なりに盛り上がった会になりました。

自分はクリスマス会実行リーダーに選ばれたのですが、リーダーらしいことは出来なかったと思います。ですが、パントマイムの披露では自分でこたわって出来たのでよかったです!!

Nさん



スタッフ & 利用者

あれこれ

若者サポートステーションには随時新しい利用者さんが来られています。また今年度からは新しいスタッフの方々が支援の輪に加わりました。このコーナーではそんな皆さんをピックアップし、自己紹介や好きなこと、日々の心掛けなど、自由に語っていただきました。

改めて考えると、こだわりのない自分に気が付きました。しいて言えば、寝ることには貪欲です。学生の時は、夜中から次の日の夕方まで寝ることはしょっちゅうでしたが、今は2歳児の悪魔に起こされ、ゆっくり寝ることができません。なので寝ることは諦めました。他は…パソコンでいろんなものを作っていくことが好きなので、仕事は事務系を選びます。でも昔は洋服の販売員だったんですよ！

想像できませんね。
スタッフ Kさん

思う存分寝ることが叶わなくなった現実辛いですね…でも自分の好きなことでお仕事をされていて良いですね。

規則正しい生活をしようと思っています。そのためには、毎日きちんと食事を摂り体調を保つことです。朝食を食べずにサポステでプログラムをしても身に入らないと思います。朝食を食べないことで体調を崩してしまうこともあるかもしれません。体調を崩さないためにも朝食を食べるようにしたいと思います。また、朝早く起きようと思っています。朝早く起きることで、すがすがしい気分になります。

利用者 Wさん

健康管理の基本をしっかり実践されているんですね！朝食も食べずギリギリにサポステへ向かうこともある私には良い教訓となりました。

私の好きなことは、絵を描くことです。その他にも、本を読むこと、パソコンに触れること、人の話に耳を澄ませること、テレビを観ることがあります。さらに、懐に余裕さえあればもちろんこれらに、「どこかに出かける事」や、「映画を観賞する事」、「買い物をする事」が加わります。眠ることもまた、好きなことに近いものです。これら全ては、自分の世界や、考え方、価値観に無視できない影響を与えてくることもあります。

利用者 Mさん

きっとクリエイティブな人は日常の様々な行動にも意識を巡らせて、想像力を得ているんでしょうね。これからも素敵な作品を創り出してってください。

私の好きなことは、ぼーっとすることです。常にぼーっとしがちな私ですが、特にほっとしたいときや、落ち込んだとき、ストレスが溜まったとき、気持ちを切り替えたいときに家の庭に向かってぼーっとするのです。何も考えずに、草や土や雨の匂い、季節が変わっていく景色を見ていると心が落ち着いて、じんわり平常運行に戻っていくのです。鳥や虫を眺めるのもおつです。有意義に、ぼーっとしていけたらいいなと思う私です。

利用者 Kさん

ぼーっとする…それは簡単ようで意外と難しいものです。雑念や邪念無くぼーっとする、そんな瞑想のような時間を過ごせるなんて素晴らしい！

ご協力頂いた4名の皆さん
ありがとうございました！

職業人スタッフアンケート

今回は、昨年度、企業開拓支援員としてサポートステーションで働いておられた野口さんと、今年度から企業開拓支援員としてジョブトレーニング先企業の開拓や、利用者のサポートに尽力されておられる石黒さんの、男性スタッフお2人にご協力頂き、アンケートに回答して頂きました。人生の先輩の言葉として、利用者の皆さんの参考になればと思います。

上 石黒さん 下 野口さん

- Q 1. 以前はどんな業種のお仕事をされていたのでしょうか？
Q 2. その仕事へのやりがいや、その仕事から学んだことはありますか？
Q 3. 今サポートステーションで仕事をされていてどうですか？
Q 4. 社会に出るために必要なこと、仕事に対する心構えなどがありますか？
Q 5. 最後にサポステの利用者に一言お願いします！

- Q 1. 電源盤や制御・監視盤の据付け工事やケーブル工事など電気工事の管理を行ってきました。工事計画書を作り、現場事務所ができると事務所に勤務して工程や品質管理をし、客先や社内設計部門等との連絡調整を行ってきました。
- Q 2. 現場は毎日モノがどんどん出ていくので、前に進んでいることを感じます。ですので、現場の人間は皆現場が大好きです。思わぬ問題が起きることもありますが、力を合わせて一生懸命やれば解決できると学びました。
- Q 3. 会社勤めの後半は若い人たちの育成もやってきました。ですので、若者が張り切っている姿や、悩んでいる姿をいっぱい見えました。サポステでの仕事はその時の延長のような気がしています。
- Q 4. 特別に必要なことは何もないと思います。ありのままの自分で仕事に取り組んで、課題を見つけたら解決していけばよいと思います。解決方法はいろいろありますので、一つできないからといって諦めて欲しくありません。
- Q 5. いっぱい悩んでいいと思います。それが若者を成長させるのですから。ですが、どんなことに取り組むときも遠慮や尻込みをせず、ありのままの自分で取り組んで前に進んでいってほしいと思います。

- Q 1. 食品メーカーに3年勤務し、その期間の大半を「現場に近い営業部門」に籍を置いていました。そのうちの6年間は、実際にお得意様を150店程担当し、販売促進活動に従事していました。
- Q 2. 「人にして信無くんば、其の可なるを知らざるなり」 ←人として信用・信頼がなければうまくやっていけるはずがない(論語)
営業部門にいたので、当然のことながら、業務上「業績・数字」を上げることが求められましたが、業績を上げるのと同じくらい「信用・信頼」を得ることは嬉しいことで、また「やりがい」でもあり、大切なことと思っています。(「おめさんが言うなら、買ってあげるよ」、「そこまで言うなら、買ってあげるよ」等)
- Q 3. 「之を知るを之を知るとなし、知らざるを知らずとなす、是れ知るなり」 ←知っていることは知っている、知らないことは知らないと自覚することが本当の「知る」ということ(論語)
サポステに務めて2年目ですが、何分、会社員の経験が少なく、これといった資格もないので、はっきり言って「素人」の仕事しかできず、「ボランティア活動」をやっているようなものです。知らないことは誰にでもあるはずであり、「知ったか振り」をせず、要は何回も聞かないことと、覚えることが大事と思って、日々悪戦苦闘しています。
- Q 4. 社会に出る、仕事に就く、次のステップに進めば、当然のことながら新しい・初めての経験だらけであり、失敗する・ミスすることは当たり前のことと思います。かく言う私も日々失敗・反省の連続です。失敗を恐れずに吸収していく姿勢が大事だと思います。
- Q 5. 「歳寒くして、然る後に松柏の彫るに後るを知るなり」 ←冬になり、他の草木が枯れても松や柏が青々と茂っているように、人間も逆境でこそ真価が問われる(論語)
「天を怨みず、人を咎めず、下学して上達す」 ←不遇であっても、運命を恨んだり他人のせいにならず、自らの修養に努めることで進歩する(論語)

編

集

後

記

今回はデザイン担当の編集メンバーが増えたことで、ビジュアル面でもよりバラエティに富んだ紙面になったように思います。内容も年を過ぎ、クリスマス会から最近の活動、スタッフや利用者のお話など充実したものとなりました。今回もご協力頂いた皆様ありがとうございました。 T.M

サポステ Typhoon 第2回目の発行ということで、私自身も作成に携わらせていただくのは2回目でした。編集委員のメンバーが増え、それぞれの得意分野を活かして協力しながら一つのものを作る楽しさを感じました。ありがとうございました。 S.T

今回初めての編集委員ということで、期待や不安がないまぜになっていました。時間や自分との勝負でしたが、無事発行することができてよかったです。大変なためになった部分もたくさんあり、とてもいい経験になりました。ご協力頂いたみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。 H.M

■長岡地域若者サポートステーション■〒940-0033 長岡市今朝白1-10-12 長岡市勤労青少年ホーム2F
Tel 0258-86-7730 Fax 0258-86-7731 HPブログはこちら⇒ <http://www.nagaoka-wsc.org>
長岡駅東口から徒歩3分ほど。若者の就労に関する支援を行っているよ。気軽にきてみてね(^_^)/
サポステTyphoon Vol.2 2014年3月発行